

番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

1. 開催年月日 平成 22 年 12 月 14 日（火） 12 : 00 ~ 14 : 00
2. 開催場所 銀座東武ホテル
3. 委員の出席 委員総数 7 名
出席委員数 7 名（中村芝翫、山内静夫、品田雄吉、田中康義、堀江ミエ子、伊藤信太郎、小山観翁）
4. 放送事業者側出席 5 名（油谷昇 [代表取締役社長]、山崎克己 [監査役]、藤本弘之 [取締役・営業担当]、井田寛 [取締役・編成担当]、尾崎誠 [編成次長]）
5. 議事の概要
 - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの現状報告
 - ・今後の放送番組について
 - ・その他
6. 議事内容
 - 衛星劇場チャンネル
 - ・有料チャンネルにとっては厳しい日々が続いている。
 - ・来年は 20 年という節目の年になるので、視聴者に向けてアピールしていく。まずは第 1 弾として「三国志」を 4 月より放送していく。
 - ・韓国ドラマは、現地の系列のチャンネルにファーストは取られてしまうため、どうしてもセカンドの放送になってしまう。四半期に一度は、目玉の韓国ドラマを放送することで、加入につなげていきたい。
 - ホームドラマチャンネル
 - ・時代劇では、鬼平犯科帳、剣客商売の反応がいい。
 - ・韓国関係では、K-POP の放送も始める。
 - ・秋より e2 に参入することが出来た。
 - ・来年 4 月からはパックにも加入することが決まっているので、今後は大幅な加入が期待できる。

○営業報告

- ・衛星劇場、ホームドラマチャンネルともに、苦しい状況が続く。
- ・BS の市場は来年 11 チャンネルに増える。
- ・上記状況を踏まえて、CS だけではなく BS にも目を向けていくことが求められる。

以上